

標 題	令和 5 年度 第 12 回治験審査委員会	開催日時	2024 年 3 月 19 日 17 時 05 分～17 時 30 分
		場 所	堺市立総合医療センター 1 階ホール (一部の委員は WEB 会議システムを使用しリモート参加)
出席者	能浦真吾（議長）、花房俊昭、石坂敏彦、倭成史、山村順、長井美樹、田中文、安井友佳子、金山千明、古谷緑、児玉恵美子、中辻里美、小西宏幸		
欠席者	高橋利治、田中将之		
【議事内容】			
1. 治験の継続等の適否について			
(1) 日本イーライリリー株式会社の依頼による閉塞性睡眠時無呼吸患者を対象としたチルゼパチドの第Ⅲ相試験（GPI2）			
<u>審議内容</u> ：当該治験薬で発生した安全性情報について、治験継続の適否を審議した。 <u>審査結果</u> ：承認			
(2) サイトリ・セラピューティクス株式会社の依頼による原発性直腸癌患者を対象とした腹腔鏡下手術及び一時的人工肛門造設時の Cyt-006 のセプラフィルム®に対する非劣性試験			
<u>審議内容</u> ：当該治験機器で発生した安全性情報について、治験継続の適否を審議した。 <u>審査結果</u> ：承認			
(3) アストラゼネカ株式会社の依頼による高カリウム血症又は高カリウム血症のリスクを有する慢性腎臓病（CKD）患者を対象とした CKD 進行におけるジルコニウムシクロケイ酸ナトリウム水和物の第Ⅲ相有効性試験			
<u>審議内容</u> ：当該治験薬で発生した安全性情報について、治験継続の適否を審議した。 <u>審査結果</u> ：承認			
(4) （治験国内管理人）IQVIA サービスーズ ジャパン合同会社の依頼による好酸球性重症喘息患者を対象とした GSK3511294（デペモキマブ）をメポリズマブ又はベンラリズマブと比較評価する第Ⅲ相非劣性試験			
<u>審議内容</u> ：当該治験薬で発生した安全性情報について、治験継続の適否を審議した。 <u>審査結果</u> ：承認			

2. 治験に関する報告事項について

(1) 2024年2月IRBにおける委員からの安全性情報に関する質問の回答

Altos Biologics Inc.の依頼による新生血管を伴う加齢黄斑変性患者を対象としたALT-L9の第3相試験

報告内容：事務局より説明を行った。

3. その他

(1) 委員に対する教育研修について

事務局より、委員に対してアンケート調査を行った。

(IRB委員研修 1年間のまとめ)

(2) 現在の治験進捗状況の報告

事務局より、現在の治験進捗状況を報告した。

(3) 治験審査委員会日程一覧表の配付について

事務局より、2024年度の治験審査委員会日程一覧表の配付に関する連絡を行った。

【特記事項】

(1) 外部委員1名(小西委員)については、WEB会議システム(Zoomミーティング)を使用して院外よりリモート参加。WEB会議システム(Zoomミーティング)の使用にあたっては、会議の内容が漏洩しないように注意を払ったうえで参加していただくよう予め依頼した。

(2) 能浦委員長が責任医師として関与している治験については、花房副委員長が委員長業務を代行。

【次回開催】

・日時：2024年4月16日(火) 17時00分～(予定)

・場所：1階 ホール(予定)

以上